

# 第10回記念 ちびマッチ選手権福岡大会

出場チーム

福岡県内の65チーム／小学4年生以下

日程・形式

☆予選リーグ／福岡県内各地

2021年7月22日(祝・木)～11月14日(日)

リーグ戦形式／1パート5チーム×13パート

※自主対戦制により全チームが4試合ずつ実施

☆決勝トーナメント／筑紫野市、太宰府市

2021年11月27日(土)・28日(日)

※予備日：12月4日(土)

代表16チームによるトーナメント制大会

主催：ちびマッチ応援団／後援：筑紫少年野球サンデーリーグ連盟

※前年度は九州大会として開催。今年度は感染症対策のため、福岡大会と佐賀大会として開催。

前年度優勝 志免ブラザーズ (福岡県糟屋郡志免町)



前年度準優勝  
立岩クラブ (福岡県飯塚市)



# 『第10回記念ちびマッチ選手権福岡大会』 出場チーム一覧

1	青葉ベースボールクラブ	北九州 若松市	34	月の浦フェニックス ☆	大野城市
2	青山少年	北九州 八幡西区	35	堤ヤンキース	福岡南区
3	赤間パイレーツ	宗像市	36	津福わかわし	久留米市
4	芦屋ビッグドリーム	芦屋町	37	津屋崎ジュニアイーグルス	福津市
5	東野少年野球	小郡市	38	照葉ハンターズ	福岡東区
6	甘木ゴールデンフェニックス	朝倉市	39	鳥飼クインビーズ	久留米市
7	池田スラッガーズ	北九州 八幡西区	40	中井フェニックス	北九州 小倉北区
8	伊左座ヤンキース	水巻町	41	長尾ファイターズ	福岡南区
9	怡土少年野球クラブ	糸島市	42	那珂川マリナーズ	那珂川市
10	宇美ジュニアーズ球団	宇美町	43	長住少年野球部	福岡南区
11	FBIエレファント	福岡南区	44	中間南ドリームス	中間市
12	大野城ジュニアホークス ☆	大野城市	45	西花畑ウインディーズ	福岡南区
13	大野リトルファイターズ ☆	大野城市	46	西福岡マリナーズ	福岡西 南区
14	小笹少年野球クラブ	福岡 中央区	47	花房ベースボールクラブ	北九州 若松市
15	春日少年野球 ☆	春日市	48	原北ウイングス	福岡 早良区
16	上津ベースボールクラブ	久留米市	49	東風フェニックス	糸島市
17	可也ジュニアロイヤルズ	糸島市	50	東国分インパルス	久留米市
18	京町イーグルス	久留米市	51	東箱崎ドルフィンズ	福岡東 南区
19	草ヶ江ストロンガーズ	福岡 中央区	52	平野リトルジャガーズ ☆	大野城市
20	鞍手ベアーズ	鞍手町	53	福岡ジュニアファルコンズ	福岡西 南区
21	玄洋少年野球クラブ	福岡 西南区	54	福岡三苦ヤンキース	福岡東 南区
22	木屋瀬バンブーズ	北九州 八幡西区	55	福岡ライナーズ	新宮町
23	桜野ホープス	糸島市	56	福岡南フレンズ	福津市
24	志免ブラザーズ	志免町	57	二日市ジュニアーズ ☆	筑紫野市
25	城少レッドスターズ	福岡 西南区	58	前原南少年野球クラブ	糸島市
26	新宮ジュニアオーシャンズ	新宮町	59	三潞シアターズ	久留米市
27	高取少年野球クラブ	福岡 早良区	60	三輪スポーツ少年団軟式野球部	筑前町
28	太宰府ブレーブス ☆	太宰府市	61	姪北ブラックベイスターズ	福岡西 南区
29	大刀洗ビッグドラゴンズ	大刀洗町	62	夜須イーグルス	筑前町
30	立岩クラブ	飯塚市	63	矢部メッツ	八女市
31	筑後ドジャース	筑後市	64	吉田レグルス	北九州 小倉南区
32	筑紫野サターンズ ☆	筑紫野市	65	若久団地少年野球部	福岡 南区
33	筑南ビクトリー	筑紫野市			

# ちびマッチ選手権大会 歴代上位チーム

## 第1回(2012年)

[Aブロック]

優勝：宇美ジュニアーズ球団  
準優勝：照景ハンターズ  
第三位：福岡ボンバーズ

[Bブロック]

優勝：大野リトルファイターズ  
準優勝：中原少年野球クラブ  
第三位：大野城少年野球

## 第2回(2013年)

優勝：月の浦フェニックス  
準優勝：大野城少年野球  
第三位：照景ハンターズ

## 第3回(2014年)

優勝：弓削キング  
準優勝：二日市ジュニアーズ  
第三位：甘木ゴールデンフェニックス

## 第4回(2015年)

優勝：福岡三苦ヤンキース  
準優勝：泗水ウエストレイズ  
第三位：清水スカイヤーズ

## 第5回(2016年)

優勝：福岡三苦ヤンキース  
準優勝：泗水ウエストレイズ  
第三位：筑紫野リトルホークス

## 第6回(2017年)

優勝：大野城少年野球  
準優勝：中間南ドリームス  
第三位：福岡三苦ヤンキース

## 第7回(2018年)

優勝：大野城少年野球  
準優勝：原北ウイングス  
第三位：青景ベースボールクラブ  
第三位：西原村学童野球クラブ

## 第8回(2019年)

優勝：安德ヤングファイターズ  
準優勝：菱形U&U少年野球クラブ  
第三位：夜須イーグルス  
第三位：可也ジュニアロイヤルズ

## 第9回(2020年)

優勝：志免ブラザーズ  
準優勝：立岩クラブ  
第三位：IBCレイカーズ  
第三位：筑紫ビッキーズ

## 第10回(2021年)

[福岡大会]

優勝：

準優勝：

第三位：

[佐賀大会]

優勝：

準優勝：

第三位：

# 『第10回記念ちびマッチ選手権福岡大会』 開催要綱

主催	ちびマッチ応援団 (大会主催者/大会実行委員長:ちびマッチ応援団・団長 吉田光寛)
主管	ちびマッチ選手権大会実行委員会
後援	筑紫少年野球サンデーリーグ連盟 (大会後援会会長:筑紫少年野球サンデーリーグ連盟・会長 田畑照雄)
協賛	ケーブルステーション福岡、ダイワマルエス株式会社、株式会社ブルペンズ、株式会社山一 (五十音順、敬称略)
協力	NPO法人ふくおかスポーツ応援隊、筑紫軟式CBC (五十音順、敬称略)
開催主旨	一、上級生に比べて試合経験が少ない小学4年生以下のちびっこ選手たちが様々な多くのチームとの試合経験を積み、交流を深められるようにする。 二、様々な役割を参加全チーム・参加者全員で責任を持って分担しながら、様々な多くのチームのちびっこ選手たちや指導者・応援団の皆さんとの交流を積極的且つ主体的に図り、深めていける機会を設ける。 三、「優勝」や「メダル獲得」といった明確な目標をちびっこ選手たちが持つことによって、野球に対するモチベーションを更に向上し、日々の練習をより懸命に取り組み、野球を今以上に大好きになっていくことを図ると共に、野球の普及と振興や部員勧誘にも繋げていくようにしていく。
実行委員会チーム	筑紫少年野球サンデーリーグ連盟所属の8チーム
出場	福岡県内の65チーム/スポーツ保険に加入している小学4年生以下の男女。 ※ユニフォームや背番号が揃ってなくても、試合出場やベンチ入りが可能。
資格	一、単独チーム、もしくは、合同チームとして、小学4年生以下の選手で試合を行えるチーム。 ※合同チームは、小学4年生以下の選手が9名以下同士のチームの合同とする。 二、予選リーグの全試合を「自主対戦制」で主体的に進められるチーム。
予選リーグ	65チーム参加。2021年7月22日(祝・木)~11月14日(日)。参加費:1,500円。 リーグ戦形式(自主対戦制で進行)。全チームが4試合ずつを行う。
決勝トーナメント	16チーム進出。2021年11月27日(土)・28日(日) ※予備日/12月4日(土)。 トーナメント制。参加費:10,000円。

## 開催規則 ※指導者の皆さんだけでなく、選手や応援団の皆さんもご確認下さい。

※本大会は、本大会の開催規則、及び、2021年度日本公認野球規則（少年野球に関する事項）・全日本軟式野球連盟学童細則に則って行う。

- ①試合に出場することが出来る選手は、スポーツ保険に加入している小学4年生以下の選手とし、各試合の開始予定時間15分前に交換するメンバー表に記名された選手のみとする（各試合ごとのメンバー表が最優先）。
- ②ベンチに入れる選手の人数制限は設けない。その試合のメンバー表に記名された選手は全員がベンチに入ることが出来る。しかし、大人的人数は、代表者1名・監督1名・コーチ2名・スコアラー1名・選手の体調管理を行う大人2名の計7名以内とする（全て性別は問わず、代行者でも可）。  
※ベンチと応援席との境界ラインはきちんと守ること。  
※ベンチからの撮影は一切禁止する。
- ③選手や指導者は各チームで統一された、背番号付きのユニフォームを全員が同じように着用することが望ましい。しかし、「ちびマッチ」では一人でも多くの選手や指導者が試合に出場することが出来たり、ベンチに入ることが出来たりすることを最優先とするため、ユニフォームがまだ全ては揃っていない選手や指導者、背番号が付いていないユニフォームを着用した選手や指導者の試合への出場やベンチ入りを可能とする。  
※背番号の数字については、選手・指導者共に問わない。
- ④全ての試合は5回までとし、70分を越えると新しいイニングには入らないこととする。  
※試合時間の計測係は、次の通りとする。
  - ・予選リーグでは、各試合の一塁側ベンチチーム（若番チーム）が行うこととする。
  - ・決勝トーナメントでは、大会本部が行うこととする。※1分でも残り時間があれば、新しいイニングに入る。  
※試合成立の条件は、4回を終了した場合、もしくは、開始後55分を経過した場合とする。  
※時間厳守を全員徹底し、グラウンド上は選手も指導者も常に全力疾走を心掛けること。  
※選手たちには「時間を気にすること」や「時間を守ること」、「全力疾走の大切さ」などを学び、上記の各規定内で試合が出来るように努めてほしいと思っております。ですので、指導者や応援団の皆さんも、ご理解とご協力を宜しくお願い致します。  
(例：必要以上にタイムを取らない、選手をむやみにマウンドに集めない、すぐにサインを出す、頻繁に打者を呼び寄せない、プレーを止めてしまう声掛けを応援席からしない、等)
- ⑤上記④の規定内で勝敗が決しない場合は、延長戦（無死満塁、打者継続、選手交代可）を1回だけ行い、それでも同点の場合は、最終出場9名によるジャンケン（5勝先勝）によって勝敗を決する。  
※決勝トーナメントの決勝戦のみ、決着が付くまで延長戦を繰り返すこととする。
- ⑥全試合、点差によるコールドゲームは無しとする。
- ⑦バッテリー間は14m、塁間は21mとする。
- ⑧同一投手の投球制限は、1日1試合まで（1試合最長5回まで）とする。特定の選手のみに負担をかけ過ぎないようにするため（投手の体を守るため）、また、一人でも多くの選手にピッチャーの経験を積ませるため、1日2試合以上の投球は、たとえ回数が少なくても禁止する。  
※1球投げて交代しても、1回・1試合としてカウントする。  
※延長戦での投球もカウントする。
- ⑨試合中の投手の準備投球（ピッチング練習）は登板直後は7球以内、以降は3球以内とする。

※投手の準備投球（ピッチング練習）を含む攻守交替は全力疾走で速やかに行うこと。

- ⑩投手がボークと見なされる行為を取った場合は同一試合・同一投手に限り、一度目は注意としてランナーを元の塁に戻し、二度目からは勉強のため、通常のルール通りにボークを宣告することとする。

※ボークの場合、審判は、「なぜボークなのかの理由」と「正しくはどうすれば良いか」をその投手にその場できちんと伝えること。

※2段モーションもボークの対象とし、上記の対応を取る。

※申告敬遠は取り入れる。

- ⑪選手がホームランを打った場合、その直後にボール交換の希望を申し出て、代わりに新しい試合球（ダイワマルエス軟式J号試合球）を出せば、そのホームランボールと交換して、打った選手にプレゼントできる。

- ⑫審判の判定は絶対とし、判定に関する抗議や質問等は一切認めない。当然、暴言・野次等も厳禁とする。しかし、ルールに関する質問のみは監督（監督不在の場合は監督代行のコーチ）一名だけが出来ることとする。ただし、その者の質問するマナーが悪い場合、審判はその者に退場を宣告できる。

- ⑬応援は必ず所定の位置で、マナー良く行うこと。特に、相手チームや審判に対する暴言・野次・抗議等（「落とせー！！」「捕るなー！！」「今の判定はおかしい！！」等）やスポーツマンシップに反する行為等は決して行わず、常に選手たちのお手本となる様にすること。そして、再三の注意にも反して違反行為を続けた場合は審判や主催者の判断により、その当該者を試合から除外することや没収試合とすることも出来る。

- ⑭試合後のグラウンド整備やライン引き等は、その試合を行った両チームで協力して行う。そして、ベンチや応援席を離れる時はその度に清掃を行い、使用前よりもきれいにしゴミ等を一切残さないこと。

- ⑮グラウンド内では、禁煙とする。喫煙が可能な場所で喫煙をした後は、各個人が責任を持ってその場をその度にきれいに清掃し、歩きタバコやポイ捨ては絶対にしないこと。

- ⑯試合中や練習中、また、移動中に事故や怪我等が生じてしまった場合は各チームで全ての責任を持ち、速やかに、しかるべき処置を行うこと（主催者は一切の責任を負わない）。

※各チームで、選手の保険証（コピー）を持参しておくことが望ましい。

◆ご不明な点等があれば、責任者／大会実行委員長：吉田に、いつでも・お気軽にお問い合わせ下さい。



# 新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドライン

1. 以下の事項に該当する者の参加を認めない。
  - ①平熱を超える発熱（おおむね37度5分以上）、咳、倦怠感などの症状がある者。
  - ②味覚や嗅覚を感じない者。
  - ③同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる者。
  - ④過去14日以内に、感染者の濃厚接触者と特定された者。
  - ⑤過去14日以内に、政府から入国制限・入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある者。
2. 参加者は全員、マスクを持参して着用した上で参加すること。
3. 練習中や試合中の選手と試合中の審判は各自の判断で、適宜、マスクを着用すること。  
※体調管理や熱中症予防を第一に考えること。
4. こまめな手洗いやうがい、アルコール等による手指や道具の消毒は各自で随時、行うこと。
5. アルコール消毒液や除菌シート等は各チームで持参すること。
6. タオルやコップ、ペットボトル等の共有は避ける。
7. 唾や痰を吐く行為を厳禁とする。
8. ミーティングは極力行わず、行う場合は一定間隔を保って、短時間で行うようにすること。
9. 試合前のメンバー表交換は、主将・監督・審判が間隔を空けて集合して行う。握手は行わない。
10. 試合の開始時及び終了時の挨拶はホームベースの周辺に集まらず、選手は各ベンチ前に、審判はホームベース後方に整列して行う。握手は行わない。
11. 大声での応援や会話、指導や指示は避けること。
12. ベンチ内や応援席では密集・密接にならないよう、一定間隔を保つようにすること。
13. ベンチと応援席の境界線（2m以上の間隔）を必ず設けること。
14. 握手やハイタッチ、ハグなどは行わず、各々がより良いコミュニケーション方法を模索すること。
15. 審判へのお茶出しは、1回で使い切る紙コップ等で行うこと。タオルは出さない。
16. 飲食をする場合は指定された場所のみで行い、一定間隔を保って対面を避けること。
17. ゴミ、食べ残し、飲み切れなかった飲料等は必ず、各自で持ち帰ること。
18. 各会場、及び、各行政団体のガイドラインを確認し、従うこと。
19. 大会期間中に緊急事態宣言等が出された場合は、大会を中断、もしくは、中止する。
20. 万が一、感染者が発生した場合には、大会実行委員会に速やかに報告すること。

